

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	道路橋梁耐震化・長寿命化事業		担当部署	経済建設部 土木課	
総合計画体系			根拠法令計画など	道路法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 16年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		道路			
施策	4	安全で快適な道路の整備			
基本事業	3	橋梁の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民ほか・一般交通・物流等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	南海トラフ地震等の大規模災害に備え、避難路等に架かる主要な橋梁10橋について、耐震化を図る。 また、橋梁長寿命化修繕計画等に基づき、橋梁の修繕を行い、延命化を図る。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	○道路橋梁耐震化事業 うずしお橋修繕補強工事、学園橋修繕補強工事、城山2号橋修繕補強工事 ○道路橋梁長寿命化事業 橋梁長寿命化修繕設計、橋梁長寿命化修繕工事、橋梁定期点検・計画策定						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		避難対象地区避難路確保人口率	95	100	/	/	/	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	道路橋梁耐震化事業および道路橋梁長寿命化事業については、社会資本整備総合交付金事業の中でも、重点事業としての事業申請を行い、予算を確保するとともに、早期発注を行うことで、年度内完成を目指し、事業の進捗を図る。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 耐震化完了橋梁数	7	10	/	/	/	橋
	2 避難路確保人口	22,173	23,394	/	/	/	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	避難対象地区避難路確保人口率	95	100	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)	/	100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	158,950	0	104,500	12,000	26,820	302,270
		補正予算額	△ 46,135	0	△ 29,800	△ 7,350	28,285	△ 55,000
		繰越予算額	34,078	0	25,000	0	4,412	63,490
		全体予算額	146,893	0	99,700	4,650	59,517	310,760
		決算額	146,893	0	99,700	3,489	23,274	273,356
		繰越額	0	0	0	0	16,000	16,000
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費
		3.0	0.0		21,963		295,319	

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	137,348	273,356	311,555	172,000	180,000
	うち一般財源	14,412	23,274	21,555	7,740	8,100
	人件費	18,085	21,963	21,963	21,963	21,963
	総事業費	155,433	295,319	333,518	193,963	201,963

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		重点事業としての申請により、予算の確保ができ、計画どおり、達成することができた。
	効率性	A:効率的だった		早期発注することができ、年度内完成させることができたため、計画どおり、達成することができた。
②成果に対する評価	指標名	避難対象地区避難路確保人口率		目標に対し、実績を満足させることができた。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		計画していた橋梁の耐震化が全て完了した。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	橋梁長寿命化事業について、今後も引き続き、社会資本整備総合交付金事業の中でも重点事業としての申請を行い、予算を確保するとともに事業の進捗を図るため、重点事業としての条件である橋梁長寿命化修繕計画の新規策定を行っていく必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	計画未策定橋梁の長寿命化修繕計画を新規策定する。			
	R2年度	計画未策定橋梁の長寿命化修繕計画を新規策定する。			